

第1・2・3・4・5学年「ねらって とって レジバレーボール！」 ―ネット型ゲーム―

久万高原町立面河小学校 米澤 はるか

ボール運動は、経験や技能によって、子どもの運動に取り組む姿勢が大きく左右される領域です。「レジバレーボール」は、レジ袋、新聞紙、テープで作ったレジボールを用いて行う、安全で、安価で、安心してできるボール運動です。このように、教具や場を工夫し簡易化することで、経験の少ない子どもや技能の低い子どもも意欲的に参加することができます。

○ 単元計画

時	第1校時	第2～5校時	第6校時
はじめ	○ オリエンテーション ・学習の進め方 ・試しのゲーム	○ 課題の確認 ○ 準備運動 ○ ボール慣れ	
なか	○ ボール慣れ ・回転キャッチ ・体タッチ ・アタック練習	○ 2×2ゲーム ・縦長コート ・横長コート ○ 4×4ゲーム	○ ゲーム
おわり	○ 整理運動 ○ 学習のまとめ・振り返り		

○ 運動のポイント

レジボールは、簡単に作れるので、一人1個のボールを準備することができます。また、つかみ投げがしやすく、滞空時間も長いのでキャッチやアタックの練習もしやすいです。



- ①レジ袋 M サイズに空気が抜けるよう小さな穴を開ける。
- ②新聞紙を一枚ずつ丸め、包んでいく。
- ③丸めた新聞紙をレジ袋の中に入れて、テープで固定する。



ボール慣れ



体タッチ

ボールが落ちてくる前に、頭・肩・ひざ・つま先の順に体をタッチ。お腹も増やそうかな。



回転キャッチ

慣れてきたら、回る回数を増やそう。真上に投げるとキャッチしやすいな。

二人で息を合わせてトス＆アタック！味方が打ちやすいところにボールを投げたり、敵がいないところに打ったりする練習になるね。



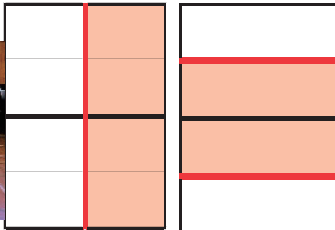
アタック練習

コートの工夫

フルコートで試合を行うに当たって、縦の動きと横の動きを身に付けさせるために、コート分割して簡単なゲームを行いました。



1チーム2人で行います。キャッチしたりトスを上げたりする際に、声を掛け合うことで、仲間と関わり合いながら、技能の向上を目指します。



令和5年10月 第131号
愛媛県小学校体育連盟
発行者 山本 智啓
編集 調査広報部
〒790-0846
松山市道後北代10-41
湯築小学校内(事務局)
TEL (089) 925-5588
FAX (089) 925-9927
https://syoutairen.esnet.ed.jp/

第47回 愛媛県小学校教員体育研修会を終えて

研修会運営部長 東温市立川上小学校 中野 豪士

8月4日（金）、西条市総合体育館において、第47回愛媛県小学校教員体育研修会が開催され、約220名の先生方に参加していただきました。午前の研究発表、午後の講演及び実技研修と実りの多い研修会になりました。

1 研究主題

「子どもがつながぐ 愛顔あふれる体育学習」

2 研究発表及び協議

今年度は、新居浜が研究発表をしました。



郡 市	領 域	研究テーマ
新居浜	器械・器具を使つての運動遊び	友達との豊かな関わり合いを通して、跳び箱を使った運動遊びの楽しさやできる喜びを味わいながら、夢中になって学習する愛顔あふれる子どもを育てる

研究協議では、子どもが主体になって取り組んだ場の設定や授業展開の工夫などについて、活発な意見交換がなされました。その後、愛媛大学教育学部准教授 糸岡 夕里 先生より指導助言をしていただきました。研究発表を通して、「子どもがつながぐ愛顔あふれる体育学習」の実現に向けた様々な視点や研究の成果を共有することができました。なお、研究の詳細につきましては、今年度末に発刊する「令和5年度愛媛県小学校体育連盟研究紀要」にも掲載いたします。

※ 新居浜の研究は、11月2日（木）に開催される第61回中・四国小学校体育研究大会（鳥取大会）にて発表します。ぜひ御参加ください。

3 講演及び実技研修

演題 「障がいのある子どもに特化した指導方法、アダプテッドの理解と実際」

筑波大学体育系 准教授 澤江 幸則 先生

講演では、第3期スポーツ基本計画（令和4年3月）において新たに示された三つの視点「つくる／はぐくむ」「つながりを感じながら取り組む」「全ての人々がスポーツにアクセスできる」に焦点を当てたアダプテッド（一人一人のニーズに合わせて修正・変更・付加する）について御指導をしていただきました。その後の実技研修では、36のグループに分かれて、ボッチャを行いました。視覚障がいのある子どもも活動を楽しむことができる支援の在り方を例に、共生の視点に立った教材の工夫について体験的に学ぶことができました。参加された先生方は、積極的に声を掛け合いながらチームで協力して体を動かし、会場は先生方のたくさんの愛顔であふれていました。

なお、実技研修の詳しい内容は、愛媛県小学校体育連盟 HP に掲載されていますので御覧ください。



第59回水泳通信記録会を終えて

水泳部長 新村 理昂

令和5年度水泳通信記録会には、延べ6,133名の選手が参加しました。そのうち、標準記録通過者数は1,683名で通過率は27.4%となり、標準記録設定の目安としている30%を下回りましたが、昨年度の25.8%を1.6%上回る結果となりました。また、今年度は、個人1種目で新記録が樹立されました。各校で競技力の向上を目指し、熱心に御指導いただき、誠にありがとうございます。

今後も、水泳通信記録会が学校体育の一環として意義あるものになりますよう、御協力をよろしくお願いします。

新記録									
種目	記録			学校名			氏名		
男子7.5m個人メドレー	0:50.5			中曽根			森下 泰明		四国中央
	男子			女子			合計		
	参加者数 (人)	通過者数 (人)	通過率 (%)	参加者数 (人)	通過者数 (人)	通過率 (%)	参加者数 (人)	通過者数 (人)	通過率 (%)
25m自由形	1,167	331	28.4	1,080	207	19.2	2,247	538	23.9
50m自由形	622	209	33.6	533	156	29.3	1,155	365	31.6
100m自由形	152	51	33.6	128	46	35.9	280	97	34.6
50m平泳ぎ	331	73	22.1	318	74	23.3	649	147	22.7
100m平泳ぎ	131	40	30.5	105	29	27.6	236	69	29.2
50m背泳ぎ	161	79	49.1	180	58	32.2	341	137	40.2
25mバタフライ	154	52	33.8	118	30	25.4	272	82	30.1
50mバタフライ	73	31	42.5	52	19	36.5	125	50	40.0
75m個人メドレー	78	28	35.9	97	36	37.1	175	64	36.6
200mリレー	197	39	19.8	186	28	15.1	383	67	17.5
150mメドレーリレー	132	35	26.5	138	32	23.2	270	67	24.8
合計	3,198	968	30.3	2,935	715	24.4	6,133	1,683	27.4